

小児がんに対する粒子線治療を考えるフォーラム開催要領

1 趣 旨

全国で年間約 3,000 人の新規患者が発生している小児がんに対して、発育・発達障害等の晩期合併症の抑制に極めて効果的と言われる粒子線治療の現状と課題、またその有用性について、医療関係者や患者代表等により議論を深め、その結果を広く県民に情報発信することにより、兵庫県が整備を進める小児がんに重点を置いた粒子線治療施設の意義への理解の促進を図る。

2 主 催 兵庫県

3 日 時 平成26年7月13日（日）13:30～16:30

4 会 場 兵庫県看護協会ハーモニーホール

5 参加者数 約400人

6 内 容

(1) 開 会

(2) 挨拶 兵庫県副知事 金澤和夫

(3) 基調講演 正木 英一（総合南東北病院小児がん放射線治療研究所所長）

(4) パネルディスカッション

①コーディネーター

杉村和朗（神戸大学学長補佐（先進医療担当）

②パネリスト

櫻井 英幸（筑波大学医学部附属病院陽子線医学利用研究センター長）

石上 久美（兵庫県立こども病院血液腫瘍内科親の会代表）

西田 芳矢（兵庫県医師会副会長）

不破 信和（兵庫県立粒子線医療センター院長）

小阪 嘉之（兵庫県立こども病院小児がん医療センター長）

西村隆一郎（兵庫県病院事業管理者）

(5) 閉 会

7 参 加 者

一般県民、小児がん患者家族、県内の小児がん診療病院、近畿ブロックの小児がん拠点病院、兵庫県病院協会、兵庫県民間病院協会、兵庫県放射線技師会、神戸大学、兵庫医科大学等